

老人保健施設管理医師総合診療研修会

修了証書

宮上 寛之 様

第 133132 号

あなたは、この度老人保健施設管理医師総合診療研修会
(第Ⅰ期・第Ⅱ期)に参加し下記の24項目の研修を
修了したことを証します

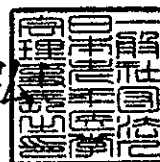
カリキュラム

| | |
|-----------------------|------------------------------------|
| 老人保健施設の役割について | 老健施設の在宅復帰・在宅生活支援機能 |
| 老人保健施設管理医師について | 施設内連携・施設外連携・老健施設における多職種協働 R4システム |
| 老人保健施設における終末期医療 | 終末期医療 (老年医学会の立場表明など) |
| 老人保健施設の認知症ケア1 | 認知症について (総論) |
| 老人保健施設の認知症ケア2 | 認知症の非薬物療法 |
| 老人保健施設の認知症ケア3 | 認知症の薬物療法 (特にBPSDへの対応、向精神薬の適切な使用方法) |
| 高齢者の多病と多様性1 | 高齢者の病態と生活機能、生活環境をすべて把握する：高齢者総合機能評価 |
| 高齢者の多病と多様性2 | 高齢者の栄養とフレイル・サルコペニア |
| 高齢者の多病と多様性3 | 老健施設の疾病の特性と早期介入 (皮膚疾患、褥瘡、疥癬、带状疱疹等) |
| 高齢者の多病と多様性4 | 老健施設の疾病の特性と早期介入 (精神・神経疾患等) |
| 高齢者の多病と多様性5 | 老健施設の疾病の特性と早期介入 (発熱、肺炎、口腔ケア等) |
| 高齢者の多病と多様性6 | 老健施設の疾病の特性と早期介入 (排尿、排便、尿路感染症等) |
| QOL維持・向上を目指したケア1 | リハビリテーション処方箋の書き方 |
| QOL維持・向上を目指したケア2 | 在宅復帰のためのリハビリテーション |
| 高齢者に対する適切な医療提供の指針について | 高齢者に対する適切な医療提供の指針の説明 |
| 高齢者に対する薬物療法の基本的な考え方 | 多剤併用の問題点など |
| 生活の場に即した医療提供 | 生活環境の変化に対応した医療提供、在宅医療 (かかりつけ医との連携) |
| 生活の場に即した医療提供 | 感染症対策・薬剤耐性菌等について |
| 高齢者の生活習慣病対策 | コストと効果のバランスを考慮したケア |
| 家族・介護者のケア | 家族をはじめとした介護者の負担を理解し、早期に適切な介入 |
| グループワーク1 | 高齢者総合機能評価 (計画書の作成) |
| グループワーク2 | 老健管理医師の役割：高齢者の薬物療法 |
| グループワーク3 | 老健施設における終末期医療 |
| グループワーク4 | 老健施設における認知症ケア |

2019年10月6日

一般社団法人日本老年医学会
理事長

秋下 雅弘



公益社団法人全国老人保健施設協会
会長

東 憲太郎

